

国投新集、阜陽で炭鉱プロジェクトを本格化＝新株発行で27億元調達 - 安徽省

10日付の中国紙・中国証券報（B2面、D4面）によると、上海証取に上場する石炭会社、国投新集能源は、安徽省阜陽市にある炭鉱「口孜東井田」の建設工事を本格化する。総投資額は約37億4000万元で、今年9月までに21億6000万元を投じた。同社は近く機関投資家などに新株を発行し、最大27億元を調達する計画だ。プロジェクトの継続資金として利用するほか、融資の返済に充てる。

同鉱の年産規模は500万トンで、可採埋蔵量は3億9100万トンを見込む。稼働時期は未定。（時事）

中国 IT 市場 ナビゲーター

(85) 聯通版 iPhone を待ち受ける課題 野村総研(上海)咨询有限公司

中国聯通（チャイナ・ユニコム）は10月30日午後6時、北京の「世貿天階（THE PLACE）」で、「iPhone（アイフォン）」の中国大陸での発売式を開催した。寒空の下で発売を待つ人の列は午後3時からでき始め、300人余りが並んで待ち続けた会場は熱気に包まれた。10月1日から29日までの間に、インターネットでの購入予約は14万人を超えたという。続いて31日から、ほかの31の省・自治区・市でも発売式を行い、WCDMAサービスが開始されている全国285の都市にある700のキャリアアショップ、1000余りの専売店や各種チャンネルを通じ、販売を展開し始めている。

米アップルと3年間の販売契約を結んだ聯通は、ハイエンドユーザー層を獲得し、自身のブランドイメージを高めることができるばかりでなく、アイフォンの人気プラットフォーム「App Store（アップ・ストア）」を通じて、第3世代（3G）のデータサービスでも大きな収益の獲得が期待できる。

iPhone 3GS (16GB) 購入価格 (元)

	月額料金	126	156	186	226	286	386	586	886
24カ月 契約プラン	端末代金	3999	3799	3499	3199	2699	1799	99	0
	頭金	3000	3200	3500	3800	4300	5200	6900	6999
	毎月の返還額	125	133	146	158	179	217	288	292
聯通版・単体	5880								
並行輸入版	5400(香港版)、5000(米国版)								

発売されたのは、8ギガバイト（GB）の3Gモデル、16GBと32GBの3GSモデルの3機種。携帯電話単体の価格はそれぞれ4999元、5880元、6999元である。「端末」と「サービス」をセットで販売する「24カ月プラン」を設定しており、契約者は優遇価格で端末を購入できる＝表。

もっとも、聯通の発売する正式版アイフォンはさまざまな課題に直面している。まず中国市場への投入が遅過ぎ、2年も前から発売されているアイフォンの多くの消費者は新鮮さと期待感を失っている。次に、政策上の制限によって、無線LANのWiFi（ワイファイ）機能が削られている。現状では、中国の3Gは通信料金が高いだけでなく、通信スピードも不安定なので、WiFiへのユーザーのニーズが高い。WiFiなしではアイフォンの魅力を大きく低下させる。また並行輸入品が現在の中国市場で大量にはびこっていて、それらはWiFi機能を備えるだけでなく、正式版より価格も安い。

より重要なのは、競合他社との競争にも直面していることである。利用する通信事業者が聯通版では制限されておらず、電話番号を特定するICカード（SIMカード）はどの事業者のものでも利用できるため、聯通でも、中国移动でも、アイフォン購入後に自由に選択できる。これは、聯通のサービスに十分な魅力がなければ、ライバルに利用者を結局は奪われていく可能性があることを意味している。

聯通が本当に利用者を獲得し、維持するには、高品質な端末だけでは不十分である。引き続きネットワークのカバー率と質を高め、より魅力ある3Gアプリケーションとサービスを開発しなければ、3G市場での競争力を保つことはできないだろう。

（コンサルタント 周睿）